

国際協力

2021.7.1

夏号

No.68

JICA 駒ヶ根

JICA海外協力隊 派遣前訓練再開!



1年ぶりに入所

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020年4月以降中断されていたJICA海外協力隊の派遣前訓練が、2021年4月より1年ぶりに再開されました。コロナ禍での訓練再開では、昨年から進めてきた感染防止策を講じながら、地域の皆様に不安を与えないよう、感染予防に万全を期して行って参ります。訓練中の施設訪問受け入れ休止など、ご不便をおかけいたしますが、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年度の訓練は以下の感染予防策をはじめ、施設面・運用面でも対策を徹底しながら、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて適切に対応します。

- ・1隊次あたりの訓練生を定員の半分以下へ
- ・従来の訓練期間70日間を45日間に短縮、年間5回の訓練を予定
- ・訓練所入所前にホテルでの14日間の健康観察/リモート型訓練の実施
- ・訓練生およびスタッフの定期的なPCR検査の実施

また、これまで行ってきた訓練所外での課業は、今年度中止とさせていただきます。

訓練再開後はじめての隊次となる2021年度1次隊は、駒ヶ根訓練所に42名、福島県二本松訓練所には58

名の計100名が入所しました。派遣予定国はマレーシア、ラオス、ドミニカ共和国、マラウイ、ナミビア、ジンバブエ、ガボン、ルワンダ、セルビア、タイ、東ティモール、カンボジア、ベトナム、ケニア、ウガンダ、マダガスカルの合計16カ国となっています。

4月28日に行われた入所式は、所内関係者のみで行われました。駒ヶ根市の伊藤市長、駒ヶ根協力隊を育てる会の高坂名誉会長、有賀会長に駒ヶ根市役所よりオンラインで参加いただき、「体調に留意しながら、45日間の訓練を頑張りたい」と激励いただきました。

本来であれば昨年訓練を受ける予定だった訓練生の皆さん、コロナ禍で延期になった後もその熱い想いを絶やさず、1年越しに訓練を行っている姿に胸が熱くなります。訓練所スタッフ一同、その想いに応えられるよう、コロナ禍での訓練を精一杯サポートしていきます!



駒ヶ根市伊藤市長よりオンラインで激励の言葉

2021年度派遣前訓練予定日程

今年度の訓練は以下日程の予定となっております。

2021年度1次隊：4月27日～6月10日

2021年度2次隊：6月29日～8月12日

2021年度3次隊：9月7日～10月21日

2021年度4次隊：11月9日～12月23日

2021年度5次隊：2022年1月25日～3月10日

1年ぶりの訓練再開!

2021年度1次隊、コロナ禍での訓練、仲間との絆。

コロナ禍の中、はじめての訓練となった2021年度1次隊。

いろいろな規制がある中でも、充実した訓練生活を送ってもらいたいという思いから、スタッフ・訓練生が委員となる『新型コロナウイルス感染症対策検討委員会』を立ち上げ、お互いが意見交換できる場を設けるとともに、状況に応じ運用の改善を行ってきました。訓練生も様々なアイデアを出しながら、「できないことを考えるのではなく、この状況をどう工夫して乗り越えていくか」という視点を持ち、根気強く取り組む姿が見られました。



オンラインを活用し、3密回避

通常時の訓練とは違い、いつもは楽しい笑い声が響く食堂での食事も黙食となり、また45日間という短期間の訓練ではありましたが、訓練生同士の絆はいつも以上に増して強いものになったことが感じられました。

6月10日に行われた修了式では、隊員を代表しルワンダ共和国派遣予定の伊藤隼人さん(愛知県出身、職種:体育)が答辞を行い、「ここで出会えた



修了式、隊員代表の答辞

42名が、たとえ派遣が遅くとも、任国の地につけ、活動していけることを心より信じております」

と意気込みを語ってくれました。

そしてコロナ禍の中、共に励まし合い、訓練を乗り越えた同期の仲間たちへ「皆さんはかけがえのない存在です。進む道は違えども、心は共にあります。また必ず会いましょう。その時は思い切り肩を組んで語り、笑い合いましょう」とメッセージを送りました。

コロナ禍での訓練を見事に乗り越え、隊員として新たなスタートを切った42名の皆さん、本当にお疲れ様でした!これから始まる2年間のストーリー、訓練所スタッフ一同から応援しています!



体力維持講座

訓練生インタビュー

応募したきっかけを教えてください

学生時代から海外に興味があり、実際に海外へ行った際、日本とは異なる多文化に触れて感動し、価値観がガラッと変わりました。看護師になり日々の生活に追われ、海外への気持ちが徐々に薄れていましたが、改めて海外に行きたいという気持ちを思い出し、看護師として海外で活躍できるJICA海外協力隊に応募しました。

コロナの影響で派遣が延期され、連絡がくるまでどうでしたか?

正直かなり迷いました。去年の今頃(5月)迷っていましたが、挑戦しなかったら後悔するという気持ちが強くなり、看護師として働きつつガボンに関する情報を調べ、入手していました。

訓練について

さまざまな職種、異なる年代の方もいて、出身もそれぞれですが、同じ国・日本人でも異文化空間を既に感じており、

2021年度1次隊 小山ありささん

看護師 / ガボン共和国派遣予定 神戸市出身

とても刺激的です。他の人と関わることで、自分の性格や価値観を再認識することができています。

活動内容と帰国後のプラン

ガボン共和国のランバレネ市にある病院で、主に母子保健をメインに活動します。前職がNIC(新生児集中治療室)で、赤ちゃんや家族のサポートをしてきた



ので、自分の知識を活かして活動したいです。帰国後は、二年間で自分の気持ちも大きく変わると思いますが、現場で働くか、国際的なことをメインで働くかを考えています。今、フランス語も勉強しているので、活用できればと思います。Je vais faire des e orts!

駒ヶ根訓練所長交代のご挨拶

離任のご挨拶 (青年海外協力隊事業に期待すること)

元所長 清水 勉

青年海外協力隊事業の魅力は、個人が国境を越えてボランティア活動に参加できるという夢、協力現場を自分でプロデュースできる醍醐味、協力の過程で人々と育む友情、自分の成長実感の手ごたえ、と表せるでしょうか。1974年に製作された映画アサンテサーナでは、調整員の妻役を演じる八千草薫に、主人公の隊員を「トンネルの真ん中を掘る人」と表現させ、異文化の中で一人もがき苦しみながら信頼を得ていく隊員像を描いており、こうした隊員活動の在り方は今後も続いていくでしょう。

一方で、これからは隊員活動に多様なアクターが参加する形態が増えていくと思います。隊員が活動の意義をアピールし、賛同する人が技術的・資金的リソースを提供してダイナミックな活動に発展するようなパートナーシップ型の活動によって活動成果が増大すれば、さらに多くの方が本事業に魅力を見出すことになるでしょう。「協力隊経験の社会還元」も、その時間軸を「帰国後」から「派遣中」に前倒しすれば、社会にも一層大きなインパクトを与えられると思います。コロナ禍で進んだリモートワークや

クラウドファンディングは、そうした活動展開のハードルを下げられることでしょう。

そして、日本の協力隊が誇る充実した派遣前訓練も、その時間軸を派遣中にまで延ばして、訓練所が多様なリソースとのネットワークのハブになり、開かれた学び合いの場として発展していったらいいと思います。「世界に開かれた窓」である訓練所を通じて、市民の皆さんが協力隊員と共に活動する世界を願っています。皆さん、たいへんお世話になりました。いつか再会する日までお互い元気で頑張りましょう!



着任のご挨拶

新所長 小林 丈通

信州の皆さん、はじめまして。5月から駒ヶ根青年海外協力隊訓練所(JICA駒ヶ根)の所長に就任した小林と申します。私の母方の実家が長野市内にあることから小学生の頃はほぼ毎年信州を訪れており、この土地にはとても深い愛着を持っています。今は第二の故郷である長野県に暮らすことの喜びを、日々噛みしめているところです。

JICA駒ヶ根では、4月末からJICA海外協力隊の派遣前訓練を再開しています。1年振りの訓練ということで、スタッフ一同、新型コロナウイルス対策に十分留意しながらも、訓練が再開されたことを嬉しく思っているところです。一人でも多くの候補生にJICA海外協力隊員としてここ駒ヶ根の地から世界に羽ばたいていただけるよう、しっかりと訓練所の役割を果たしたいと思います。

JICA駒ヶ根は設立されてから今年で42年になります。これまでこの訓練所から2万人以上の協力

隊員を輩出してこられたのは、ひとえに地域の皆さんからのご支援あつてのもの感謝しております。今後はこれまで以上に地域の皆さんと結びつきを深めながら、協力隊員の訓練と地域の活性化を目指して精進してまいりたいと思いますので、ご指導のほどをよろしくお願い申し上げます。



JICA海外協力隊 募集再開のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大により、見合わせとなっていたJICA海外協力隊の募集が再開となり、春募集が5月20日(木)～6月30日(水)で行われました。たくさんのご応募ありがとうございました!次回は11月から秋募集を予定しております。

詳しくはJICA海外協力隊HPをご覧ください。
<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

また、駒ヶ根訓練所では協力隊応募について、派遣前訓練、語学に関することなど、ご質問やご相談を随時

受け付けております。是非お気軽にご連絡ください。



協力隊経験者の訓練所スタッフがご質問にお答えします!

2021年度1次隊(2名)

長野県出身JICA海外協力隊員

行ってきます!!

青年海外協力隊



こばやし たかふみ
小林 貴史さん(長野市) 派遣国: ガボン
職種: PCインストラクター
ガボン共和国の首都リーブルビルにある技術高等学校でITリテラシー向上を目的としたICT教育に携わる予定です。現地で暮らす人々から多くを学び、日本の文化も紹介できたらと思っています。互いの国がより近い関係に感じられるような活動ができればいいですね。アフリカで暮らす彼らに会えるのを楽しみにしています。On n'a qu'une vie.

青年海外協力隊



ますざわ なおゆき
増澤 尚享さん(塩尻市) 派遣国: カンボジア
職種: サッカー
私はSPORT FOR TOMORROWの活動に参加したことがきっかけで、JICA海外協力隊を志望しました。カンボジアではサッカーは熱狂的な人気スポーツであり、技術指導や普及活動を行い、誰もがスポーツを楽しめる環境の実現に協力したいです。

JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2021を開催します!

今年のテーマは「私たちと地球の新しい未来」
地球上に暮らす私たちが向かう未来に向けて、「自分と地球」とのつながりを考え、感じたこと、行動したことについての作品を期待しています。



募集期間:
2021年6月7日 ~ 2021年9月11日

応募作品は自分の考えや体験等をエッセイとして書いたもので、他のコンクール事業等で発表していないものとします。
上位受賞者は、海外研修に参加できます!
(現地の状況等によっては、延期もしくは中止となる場合がございます)

中学生・高校生の皆さんからの多数のご応募、心からお待ちしています!

応募の詳細情報はこちら



スタッフ紹介



ボランティア事業理解促進・訓練支援 **越智 陽水**
おち よう すい
4月から駒ヶ根訓練所で勤務しています。出身は、愛媛県松山市で駒ヶ根での生活にもだいぶ慣れてきました。毎朝通勤時に見ることのできる、中央アルプスからパワーを貰っています。駒ヶ根訓練所の魅力の発信と世界へ飛び立っていく訓練生の力になれるように頑張ります。



訓練担当 **中川 綾季**
なか がわ あ き
私自身は、10年程前に青少年活動隊員としてエジプトへ派遣されていました。今度はサポートさせていただく形で、青年海外協力隊に携われること、大変うれしく思っています。「一期一会」皆様との出会いに感謝し業務に精進して参ります。よろしくお願いたします。



訓練担当 **森 詠司**
もり えい じ
2018年度1次隊でウガンダに派遣されていました。緊急事態宣言の影響で任期終了間際で帰国したものの、もう一度アフリカに戻って働きたいと思い、4月より駒ヶ根訓練所で勤務しつつ、ボランティア調整員になるべく日々励んでいます。

発行 独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336
E-mail jicakjv@jica.go.jp
<https://www.jica.go.jp/komagane/index.html>

JICA駒ヶ根 facebook ページ
<https://www.facebook.com/jicakomagane>



JICA駒ヶ根 メールマガジン

☐ 配信希望の方は jicakjv@jica.go.jp までメールで
ご連絡ください!